

# れんごう中越地協

第1088号2021.10.11  
連合中越地域協議会  
長岡市愛宕3-7-24  
TEL 0258-86-0111  
FAX 0258-86-0884  
発行人 矢島 良彦  
定価 1部10円  
購読料は会費に含む



## 連合中越地協が第11回幹事会を開く

# 当面の諸活動を協議決定する

連合中越地協は、9月28日(火)午後6時30分から地協事務所第11回幹事会を開催した。矢島議長は開催にあたり、衆議院選挙等の政治課題や連合本部の人事、今次地協定期総会役員改選等に触れる

とともに、コロナ禍であつても「地域に顔の見える運動」への結集の必要性を述べた。また、長岡地区労働者福祉協議会の体制が10月1日に変更となることや見える活動となるよう期待を込めた。報告事項では最初

に、村越幹事(JEC連合・国際石油開発帝石労組)から戸澤俊介(JEC連合・同労組)への交代が報告された。次に、第10回幹事会(8月23日)以降の主要な活動が次のように報告された。

①第31回定期総会告示(9月12日)、②第3回支部代表者会議(8月28日)。③最低賃金改定に伴う周知街宣キャラバン(9月22日)。④2021にいがたワーク&ライフフォーラム in 県央参加者21人(9月18日)。⑤フードバンクながおか「長岡子ども笑顔プロジェクト」(9月14日)。⑥S J ネット「農園管理」サツマイモの収穫等(8月28日、9月5日と23日)。⑦各支部活動を報告した。また、南魚沼市議会議員選挙に関わり、梅澤道男現市議の推薦決定が報告され

た。③次年度長岡市の市政要望は素案について意見把握中。④長岡地区労働者福祉協議会事務局長に、今井一夫中越退職者連合事務局長を選出。⑤第3種郵便定期調査への対応等として、地協運営規則を改定する。⑥そばの刈取り体験(10月10日)。⑦フードバンクながおか「長岡子ども笑顔プロジェクト」支援品仕分け活動(10月20日)。⑧S J ネット「農園管理」サツマイモの収穫(10月3日)。⑨各支部の幹事会日程と総会日程等を審議決定した。また、衆議院選挙に関係する状況が報告された。



審議。⑩10月1日、県内7カ所の地域ライフサポートセンターが閉じ、新潟県ライフサポートセンターがスタートした。▼ライフサポート事業は、2005年から、連合、中央労協、労金協会、全労済の4団体が取り組んできた事業。全国では、くらしの総合相談窓口として自治体やハローワーク等の機関、医療機関、NPO等の団体とネットワークを組んで、年間25000件の相談がある。その事業実態は、県内1箇所や複数の地域センター設置、フリーダイヤル受付等、それぞれ地域で様々な体制をとっている。▼07年に開始された新潟県内の相談は、年間約1000件。ながおかライフサポートセンターには昨年度300件程度の相談があった。08年開所から5500件の様々な相談が蓄積している。分野

新潟県最低賃金が10月1日から28円アップし、859円に改定された。これに先立ち、9月22日(水)から27日(月)にかけて、連合中越地協内の周知街宣キャラバンを行った。初日の22日は、長岡市内三島地域から与板地域、中之島地域から見附市と栃尾地域をまわった。23日は、長岡市越路地域から小国地域に街宣車を走らせ、24日は長岡市内中心部をまわった。

25日と26日は、支部エリア。朝9時に庭野十日町支部長と滝澤幹事に引継ぎ、午前中は十日町支部エリアをまわった。午後は、南魚沼支部が担当。26日午前は、北魚沼支部

が担当。途中、山本北魚沼支部長がマイクを握り、最低賃金改定などをアピール。午後は、小千谷支部が担当して地協へ。最終日の27日は、長岡市内中心部から栃尾地域と見附市を經由し、県央地協へ街宣車を渡した。

われ、牧野新潟県労働者福祉協議会理事長をはじめ、間専務理事、佐藤事務局長、矢島長岡地区労協会長、中澤副会長、板倉副会長、小林事務局長、今井新事務局長、金内相談員が出席した。牧野理事長は挨拶で「一昨年の事業検討委員会提言を受け、明日から県内すべての相談が寄せられる」とや「連合の労働相談も本部受付に見直される」等を述べ、相互に連携し合った相談に対応した報告した。



最低賃金改定に伴う周知街宣キャラバン 中越地協エリアを22日から27日(月)まわら

サラリーマン川柳(妻よりも ゴミの分別 俺に聞け) (錯覚と ムダが支える 化粧品) (松茸は おいしくないよと 子に教え) (痩せたんだ 伸びてたゴムを 勘違い)

